



同窓会だより

編集・発行／岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会事務局

〒501-0407 岐阜県本巣市仏生寺859-1 TEL (058) 324-1201 FAX (058) 323-0651

ホームページ <http://www.motosu-dousoukai.org/>

第50号

会員総数 31,830人

本巣中学校	2,571人
本巣高等女学校	2,592人
併設中学校	682人
本巣高等学校	21,299人
本巣松陽高等学校	4,686人

(令和4年3月1日現在)

コロナ禍の中で記念式典を厳粛に挙行

同窓会長 川瀬 善忠（昭40年卒）



式典での式辞の一部
を紹介いたします。

『本日ここに、岐阜
県教育委員会教育委
員、村上啓雄様。本巣
市長、藤原勉様。北方
町長、戸部哲哉様。瑞
穂市長、森和之様。他、
ご来賓ご臨席の下、本
巣松陽高等学校創立百周年
記念式典を厳粛に挙
行できること、誠に有難く嬉
しい限りです。

有難うございます。

昨年、本巣松陽高等学校は、学校創立百周年
の歴史的な大きな節目を迎えました。大正9年
創立の旧制岐阜県立本巣中学校と、翌10年に誕
生した旧制本巣郡本巣女学校が、本巣松陽
高等学校の校史100年の原点です。戦後の学
制改革により、昭和23年には両校が統合され、
新制岐阜県立本巣高等学校となりました。その
後、平成16年には岐阜県立岐陽高等学校と統合
し、岐阜県立本巣松陽高等学校と校名改称し、
この度創立百周年を迎えることになりました。
創立以来

今年度を振り返り

名譽会長（校長） 池田 哲也

に行われた記念式典
は、本巣松陽高等学校
らしい、確たる品位を
もつて執り行なうことができました。特に司会

申し上げます。

平成28年6月に創立百周年記念事業実行委員
会を立ち上げ、令和2年10月17日の記念式典と
祝賀会の挙行等、諸事業を着々と企画し、準備
進行してきました。しかししながら、創立期のス
ペイン風邪の流行から100年を経過した昨
年、再び新型コロナウイルス感染症による世界
的パンデミック（世界的大流行）が起こり、
すべての生活様式が一変しました。感染防止と
命を守ることを徹底し、諸事業の予定変更の処

同窓会の皆様には、
平素から母校の教育の
振興のため、格別の御
支援を賜り、厚く御礼
申し上げます。特に
今年度につきまして
は、延期になっていた
100周年記念式典を
同窓会の皆様の御協力もと、実施することがで
きましたのは、この上ない慶びでございます。
さて、今年度を振り返り印象深い出来事は、
やはり100周年記念事業です。7月に行われ
た名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏は、
生演奏を聴く素晴らしさを改めて知ることがで
き、生徒皆が笑顔になりました。また10月16日

代表挨拶の岩田晃成さんの活躍は、式典参加者
から大変素晴らしいと絶賛され、校長とし
ても誇りに感じました。特に岩田さんが挨拶の
最後に話された「つとめて止まじ」との言葉は、
皆様の心に深く響いたのではないかと
おもふ。甲子園出場校に勝利することができ、生徒
にとって大きな自信となりました。

1年間延期しての記念事業でしたが、次の
100年に向けて良いスタートがけられた1年と
なりました。



【創立百周年記念式典の様子 感謝状贈呈】

置をとつてきました。記念式典は1年延期し、感染リスクを削減した形態をとり、全校生徒のみさんは各教室でオンラインで参加し、体育馆で厳粛に举行することとし、本日を迎えることとし、本日を迎えてました。また、複数年にわたる当番学年の同窓会懇親会を兼ねた記念祝賀会は、中止とする苦渋の決断を致しました。

創立百周年記念事業のメインとなる正門周辺整備事業等については、歴史と伝統を次の100年に繋げたいとの願いの下、令和2年に「新たな正門」を設置し、令和3年には100年歴史を刻む「記念碑」の設置。令和4年には東門の整備と、3年計画で事業の推進を進めています。（中略）

本年から新校舎の建設が始まりました。学校を開む松樹はそのままですが、学び舎のシンボルであつた銀杏並木や多くの緑の木立は、未来の新しい環境へと引き継がれることになります。英知が注ぎ込まれ、最新の教育機能が整つた「夢の学び舎」で、生徒の皆さんのが志を持ち、輝く未来に大きく羽ばたいてくださることを願っています。（後略）

厳しいコロナ禍の中で、厳粛で確たる式典が出来たことに深く感謝申し上げます。

創立百周年記念式典、挙行
本部

事務局 西尾 侑一（平16年卒）

令和3年10月16日土曜日、創立百周年記念式典が母校体育館にて、厳肅なる雰囲気の中で無事挙行された。

本来は2年10月17日に式典を挙行する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響によって1年の延期を余儀なくされた。この間、新型コロナは幾度の「波」をもたらし、母校では通常の対面授業ではなくオンライン授業を実施したり、学校行事の中止や内容変更をしたりと、様々な制約を受けてきた。また創立百周年についても、当日午前中の式典と午後の祝賀会を予定通り実施することが困難となつたばかりか、その方策について話し合う実行委員会が会議場所の「密」対策のため実施できず、委員長会がその代わりを果たすこととなつた。また、3回にわたり、総務委員会と式典委員会が合同して式典打ち合わせ会を実施し、招待者の選定や招待状のレイアウト、式典の内容などについて、綿密な議論がなされた。

このようなかで、これ以上の延期は現実的ではなく、とはいえた節目を中止にすることもできず、情勢が許す範囲で確たる式典を行うこととした。まず、体育館では県のガイドラインに従い、席の間隔を2m以上空け、アクリル板を利用した。このような間隔をとることで体育館の収容人数も制限されるため、招待者は約190名とした。そして生徒は各HR教室で、会場内に設置されたWEBカメラを通じて参列した。このように、体育館をメイン会場にしながら、各HR教室も会場とするハイブリット型式典の挙行は、まさにコロナ禍に適つたモダルとなつた。

そして10月16日、式典当日を迎えた。当初は雨模様になることが予報されていたが、創立百周年を祝うかのように天候はもちこたえるどころか、昼には汗ばむほど

〔式次第〕
〔敬称略〕

川本真太郎 前期生徒会副会長

森井 鈴菜 前期生徒会書記
(令4年卒)

物故者慰靈
開式の辭 川瀬英樹 教頭
國歌齊唱(靜聽)
實行委員長式辭

川瀬 善忠 実行委員
(昭40年卒)
池田 哲也 校長

岐阜県教育委員会挨拶

歴代校長	新井勝正
歴代PTA会長	代表
永年勤続職員	若園
歴代同窓会長	前田宣義
代表	中島洋

特別功勞者

功勞者
代表 棚橋祥一
(昭27年卒)

藤原 勉 本巣市長
来賓祝辭
来賓紹介
祝電披露

の良い天気となつた。式典には、約100名の来賓の参列を得た。そして午前10時厳肅なる雰囲気の中で式典は開式した。

A classroom scene showing students in white uniforms sitting at desks, facing a chalkboard where a presentation is being projected.

【HR 教室からのオンライン参列の様子】

記念事業披露
生徒代表挨拶
岩田 晃成 前期生徒会長
(令4年卒)

【体育館で挙行された式典の様子】

式典終了後、創立百周年記念事業の付随事業である記念碑設置に関連して、その陰幕式が執り行われた。

式中に述べられた式辞や挨拶からは、母校の沿革だけでなく、母校生徒と職員が生んできた歴史、そして先人への感謝の念が伝わってきた。また藤原勉本巣市長によれば、来賓祝辞からは、旧制本巣中学校創立以来校地を変えることなく現・本巣市とともに歩んできたことや、旧本巣郡の期待を背負ってきたことが感じられた。来賓紹介の際、森和之瑞穂市長（昭52年卒）が「卒業生であることを誇りに思います」と挨拶したこととは、会場内の人々に強い思いをもたらしたことである。そして生徒代表挨拶で岩田晃成くんは、校歌の一句にある「つとめて止まじ若人我ら」の精神を重んじることなど、伝統の継承と創造について述べた。

また、参列した創立80周年以降の関係者、また、参列した創立80周年以降の関係者

式中に述べられた式辞や挨拶からは、母校の沿革だけでなく、母校生徒と職員が生んできた歴史、そして先人への感謝の念が伝わってきた。また藤原勉本巣市長によれば、来賓祝辞からは、旧制本巣中学校創立以来校地を変えることなく現・本巣市とともに歩んできたことや、旧本巣郡の期待を背負ってきたことが感じられた。来賓紹介の際、森和之瑞穂市長（昭52年卒）が「卒業生生であることを誇りに思います」と挨拶したこととは、会場内の人々に強い思いをもたらしたことであろう。そして生徒代表挨拶で岩田晃成くんは、校歌の一句にある「つとめて止まじ若人我ら」の精神を重んじることなど、伝統の継承と創造について述べた。

また、参列した創立80周年以降の関係者

令和4年度本部総会・懇親会



【記念碑を前に記念撮影】

頑張ってます 同窓生 vol.8

エスリハ整体院・整骨院 院長 伊藤 康博 (平15年卒)

(平15年卒)

以前、ラグビー部顧問を務めていた先生が「本巣出身者が営む、腕が良いと評判の整体院・整骨院がある」と聞いた。北方町のエスリハ整体院・整骨院院長で、同窓会社員である伊藤康博氏である。

伊藤氏は大野町出身で、東小学校、大野中学校を経て本巣高等学校に入学した。母校ではラグビー部に所属し、ポジションはナンバー1エイトで活躍した。中学時代は柔道選手として個人競技に励んできた氏にとって、「One For All, All For One」の精神を持つラグビー競技は、チームプレーを学ぶ重要な機会となつた。苦労もしたが、前田宣雄先生による指導の下、一生懸命ラグビーに取り組んだ高校生活であった。高校生活では、今でも付き合いのある親友ができた。さらに、本巣高校は自宅から近く安心で、元々柔道整復師になりたいという夢を持っていた伊藤氏にとって、資格を取つて夢をかなえるための勉強ができた場所であった。当時学んだ化学や生物が、生理学という職業柄最も重要な学問の基礎として今に役立つている。「人生の起点として、良い学校を選べた」、「母校を見ると『頑張らな」と思う」と伊藤氏は語る。

本校卒業後は当初の希望通り、米田柔整専門学校で 3 年間学び、平成 18 年に柔道整復師の資格を取得した。その後は大垣の大屋クリニックで 6 年間の修行生活を経て独立し、平成 24 年 1 月、真正に接骨院を開業した。その後、北方町に移転し、事業拡大のため令和 3 年 7 月に現在地へ移転した。現在は整体院だけなく、整体、デイサービスと健康事業を幅広く行い、8人の従業員を抱える経営者である。

また幅広く健康事業に関わる中で、「人と関わる」、「人の役に立ちたがい」という理念を実現すべく邁進中である。また、地域唯一の腰治療専門院として、ぎっくり腰といった急性のものから慢性腰痛まで様々な腰の悩みをサポートしている。そしてこの 2 月からは、脳梗塞患者のリハビリを始めたばかりである。これは、麻痺が残った状態で退院を余儀なくされてしまう「医療難民」とも呼ばれる患者に対し、「医療」では力巴しきれない部分をサポートする事業である。この取り組みをしているのは、企業としては県内初であり、「10 年間の経験を活かしていきたい」と伊藤氏は意気込む。

「最後に何か一言」とお願いしたところ、伊藤氏は笑顔で「頑張ります」と答えてくれた。北方・本巣・瑞穂圏域の健康を担う氏の活躍は、まだ始まつばかりである。

【令和 4 年 1 月 6 日 取材】

インタビュー 西尾 侑一 (平成 16 年卒)



エスリハ整体院・整骨院

〒 501-0425
岐阜県本巣郡北方町東加茂 2-43
TEL 058-323-3123
URL <https://s-reha.com/>

ようこそ、新会員のみなさん！



令和 4 年 2 月 28 日 (月)、母校において同窓会入会式が挙行され、227名の新卒生が同窓会に新会員として加入しました。クラス代表の理事には、委嘱状を授与しました。また卒業記念品として例年通り、各々の名前の印章が新会員全員に贈呈されました。

* 新会員の皆様は「令和 4 年卒」です *

令和 4 年 3 月 卒業 新理事 (敬称略)
◎ は学年代表 ○ は学年副代表

学芸賞は、サントリーアカデミーが創設 80 周年記念として出捐して創立したサントリーアカデミー賞受賞！

川瀬慈氏は、揖斐川町谷汲の出身。本校卒業後は立命館大学文学部を経て、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科修了。博士（地域研究）。平成 24 年より国立民族学博物館助教となり、29 年より現職。国内外のいくつの大学等で客員教授等を歴任。専門分野は映像人類学と芸術人類学で、コミュニケーションを媒介し生成する民族誌映画を研究している。現在は、エチオピアの音楽職能集団をはじめとするアフリカの無形文化を研究課題としている。



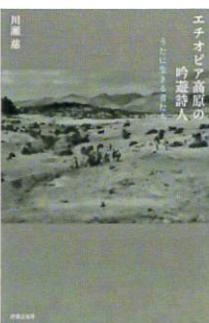
【川瀬 慈氏】

川瀬 慐氏、サントリーアカデミー賞受賞！

サントリーアカデミー賞受賞は、サントリーが創設 80 周年記念として出捐して創立したサン

川瀬氏は、揖斐川町谷汲の出身。本校卒業後は立命館大学文学部を経て、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科修了。博士（地域研究）。平成 24 年より国立民族学博物館助教となり、29 年より現職。国内外のいくつの大学等で客員教授等を歴任。専門分野は映像人類学と芸術人類学で、コミュニケーションを媒介し生成する民族誌映画を研究している。現在は、エチオピアの音楽職能集団をはじめとするアフリカの無形文化を研究課題としている。

財団が、学術・文化の発展に寄与すべく、学芸文化振興と地域文化振興事業を行う事業の 1 つで、4 つの分野において優れた著作を発表した個性豊かな新進の研究者などに対し贈呈されるものである。川瀬氏は芸術・文学部門での受賞で、エチオピアの音楽家集団「アズマリ」を約 20 年研究してきた成果としての著書『エチオピア高原の吟遊詩人 -うたに生きる者たち』(音楽之友社) が評価された。



【受賞作】

川瀬氏は学生時代、ライブハウスでギターの即興演奏を経験してきた。その後アフリカを訪れた際、現地民の豊かなコミュニケーションの世界に引き込まれて、現在の研究を始めるに至ったという。今回の受賞はまさに、自己の研究テーマを地道に究めた成果であろう。

寄付金納入者芳名

令和 3 年 2 月 1 日～令和 4 年 1 月末日

(1 口 1,000 円、敬称略)

* ありがとうございました *

柏木 典子 (昭 53 年卒)

西尾 侑一 (平 16 年卒)

2 口

3 口

* 皆様のご協力をあがめます *

西尾 侑一 (平 16 年卒)

口座名称 岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会
● 郵便振替 00880-6-154003
● ゆうちょ銀行 店名 089店
口座番号 0154003

今後の事業について

同窓会ならびに創立百周年の諸事業につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、今後変更が生じる可能性があります。その際は、同窓会ホームページ等で案内いたします。